



週報

2015～2016 年度 RI 会長 K.R. ラビンドラン
RI のテーマ 『世界へのプレゼントになろう』
第 2570 地区 ガバナー 高柳 育行

国際ロータリー
第 2570 地区

狭山中央ロータリークラブ

〔例会場〕 狭山東武サロン〒350-1305 狭山市入間川 3-6-14 TEL 04-2954-2511
〔事務所〕 〒350-1305 狭山市入間川 1-24-48 TEL 04-2952-2277 FAX 04-2952-2366
<http://www1.s-cat.ne.jp/schuohrc/E-mail:schuohrc@pl.s-cat.ne.jp>
会長 江原伸夫 会長エレクト 佐藤圭司 副会長 浜野貴子 幹事 小島美恵子

〔第 3 グループ内の例会日〕 新狭山(月)、入間(木)、入間南(火)、飯能(水)、日高(火)、狭山中央(火)
所沢(火)、新所沢(火)、所沢西(火)、所沢東(木)、所沢中央(月)

第 1078 回(3 月 22 日)例会の記録

市内 2 ロータリークラブ 合同例会

点 鐘 江原伸夫会長
合 唱 手に手つないで
第 2 副 SAA 田中(隆)君 田中(八)君
卓話講師 狭山市長 小谷野 剛様(名誉会員)
ビジター 米山奨学生 趙 恩 恵さん

※出席報告

会員数	出席者数	出席率	前回修正
36名	28名	75.75%	74.28%

会長の時間

江原会長



こんにちは。本日の卓話の時間は、昨年 7 月にこの狭山市の市長になられて以降、お忙しい毎日をお過ごしになっていらっしゃいます小谷野剛市長にお越しいただいております。貴重なお時間の中ご都合をつけて下さいます本当にありがとうございます。お話しを楽しみにしております。宜しくお願いいたします。

また、東会長をはじめ新狭山ロータリークラブの皆様、ようこそお越しくださいました。お互いに協力し合い、狭山市の活性化の一助に繋がりますよう努めていきたいと思っています。今後ともよろしくお願い申し上げます。

さて、今日の会長の時間ですが、実は少々後悔し

ております。なぜなら、先週のこの時間に、狭山市のシンボルについて話をしたばかりでしたので。

いつもながら前置きが長くなりました。本題に入ります。今日は暖かいようですが、明日以降は多少寒の戻りもあるような予報でした。しかし、先週は大分暖かくなってきておりましたのでいよいよ春本番だと思います。来週末には 4 月に入り、皆様の中にもお子様やお孫様の入学式などで何かと入用の季節をお迎えになる方がいらっしゃるのではないかと思います。

そこで今日は、ソニーの創業者の一人である井深大氏のある言葉についてお話しさせていただきます。察しのいい方はお分かりかと存じますが・・・

井深氏には数多くの著書がありますが、その中でも教育に関するものが多いように思います。ただ、私は今まで一冊も読んだことがありません。社会に巣立ってから、酒の席などで仕事や人生の話になるとよくこの方の名言を用いて人生訓を語っていた先輩もいました。多少の興味もあったためこの方の名言集などを読んでみたこともありましたが、若い頃からあまのじゃくだった私は、今から思うと不可思議な反骨心もあって、名言を用いることも本を読むこともなく過ごしているうちに、いつのまにか井深大氏のことすら忘れていました。

それが、先日のテレビで、ソニーの小学校の入学式に合わせたランドセルのプレゼントに関する話を取り上げていたのを見ていて素直に感動していました。そして、今回井深氏のことを調べ、著書に

はどんなものがあるのか、名言とはどんな言葉だったのかを知った時に、若かりし頃の不可思議な反骨心を思い出したのです。今は名言を読んでいると確かにそうだなと感心し、機会を見て本も読んでみたいと思っていますが、当時の私は、きっと、そんなことは分かっているし元々おかれている環境や土壌が違っているから、という気持ちだったのではないのでしょうか。今思うと恥ずかしい限りですが・・・。

話を元に戻します。ソニーでは昭和34年、井深氏が社員の子供の就学を祝い、家計の負担を少しでも軽くしようと始め、60年近く経った現在もそれを引き継いでいるそうです。当時、井深氏から直接手渡しでランドセルを受け取り、全員に配られたあと井深氏が子供たちに語りかける。毎年同じ言葉かどうかはわかりませんが、私が一番心を動かされた子供たちへの話があります。子供たちに将来皆がどういう人になりたいのかを質問をすると、帰ってくる答えの多くが、目標には差があっても答えとしてはほぼ同一で、「沢山勉強をしていい学校へ行って偉くなりたい」という答えがほとんどであったのに対し、氏は、『もちろん頭がよくなるならいいとお勉強もできないけれど、頭がよくなることよりも、もっと大切なことがあるんですよ。それは皆さん一人一人がよい人間になることです。どうぞ、このことをいつも頭に入れておいてください。』と。いくら勉強ができて良い学校へ行って偉くなっても、人や物事に対しての思いやりを忘れないでください、という事だろうと、遅ればせながら、私は感じ入っています。

ともあれ、今は、氏の業績や教育論、重みのある言葉などに接し、若い頃素直にこれらを受け入れていたら、私の人生も今とは多少違ったものになったのかもしれないね。

新狭山ロータリークラブ

皆さんこんにちは。
1月18日の夜、新春合同新年例会を致しました以来でございます。狭山クラブがあのような



東 会長

形になって、狭山市内の唯一無二のロータリークラブ仲間だと思いますと、色々な所で身近に感じて、頼りにもしているところです。会長幹事会がしばしばあるのですが、いつの間にかこの会長、幹事さんの傍に座っております。

この間「僕は写真で世界とつながる」という自閉症と呼ばれる方の映画会を行いました。狭山市教育委員会等20数団体、さまざまな団体の内の一つとして、この中央ロータリークラブにも後援して頂きました。本当にありがとうございました。いわば弱い立場の方々のために、ロータリーが親身になって紹介していこうという運動だったと思っております。

今日は市長さんがおいでになっておられますが、本当に忙しい中、よくおいで下さったと心から感謝を申し上げます。人という字は、必ずしもそうではないらしいのですが、一人では生きられないので、支えがあつて人という字になっていると言えます。私がこの頃つくづく思うのは、ロータリーも自分のクラブだけでは一人前と言えないのではないかと、どこかと力を合わせて、どこかと切磋琢磨することによって自分達も磨かれていくし、働きも広がっていくのではないかと思います。そういった意味でこの中央ロータリーさんには大変期待しておりますし、大変頼りにもしております。今後とも是非ご指導を宜しくお願い致します。

米山記念奨学生

趙 恩 恵さん

皆さんこんにちは。

ロータリーの米山記念奨学生としては、2014年から始まって、狭山中央ロータリークラブに



は2年間、大変お世話になりました。本当にありがとうございました。私にとって2年間はすごく短く感じたのですが、皆さんはどうだったのでしょうか？ロータリアンの皆さんとの出会い、私にとってはすごく大きな機会であったと思います。奨学金以上のサポートや教育を受けることができました。経済状況が厳しいという世の中で、ロータリー米山記念奨学金を受けることができ、先週の

土曜日に、本当に私は皆さんのおかげで無事に卒業することもできました。4月1日からは日本の企業に就職が決まって仕事が始まるのですが、たまには皆さんに会いに来たいと思います。

今日で私の奨学生の期間は終了となりますが、その後は学友として頑張りたいと思います。今まで皆様からご支援頂き、本当に感謝の気持ちで一杯です。ロータリーの米山奨学生生活を通して体験させて頂いたことを忘れずに、これから就職先でも活用できるように頑張っていきたいと思います。今まで本当にありがとうございました。

幹事報告

小島幹事

(定例理事会)次の件が審議・承認されました。

- (1) 4・5月プログラム承認。
- (2) 国際奉仕支援金について。
- (3) 新米山記念奨学生カウンセラー推薦について。
 1. 地区社会奉仕部門委員長より「交通安全啓発のぼり旗」事業報告について。
 2. 大宮ロータリークラブ60周年記念式典ご案内について。
 - 3 コーディネーターニュース2016年4月号。
 4. 受贈会報 入間南 所沢中央 所沢東各RC

「外来卓話」・・・・・・・・

狭山市長 小谷 野 剛 様



皆様こんにちは。今日はこうした席にお招き頂きまして、大変ありがとうございます。正直今日この場に立ってみて、食事は喉を通ったのですが、あ

まりの顔ぶれに若干足が震え、声も震えそうでございます。今日は皆様に変な温かいお言葉で迎えて頂いたわけでございますけれども、あまり良いニュースがございません。しかし私が昨年7月に就任して以来把握した狭山市の現状を、皆さんにまずはご理解頂ければということで臨みたいと思います。今日のために、昨日所沢にあります温泉というところでしっかり老廃物をだし、そしてマッサージも1時間してもらって、今日は体調万全で臨んでおりますので、宜しくお願い致します。

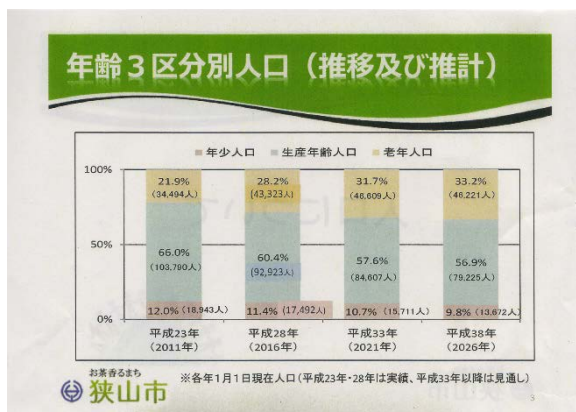
まず、今朝の読売新聞に出ましたが、お手元にお配り致しましたこの漫画、これは若い職員が、ぜひ漫画というツールを使って狭山市の魅力をアピールしたいということでスタート致しました。予算はわずか30万円程度でございます。昨日西武鉄道の100周年記念ということで狭山市も出店致しましたが、市の職員一人一人が子育て世代に声をかけ、これを配って参りました。非常に受け取りの反応も良くて、これからは第2弾、第3弾ということで、狭山市の魅力を伝えていきたいと思っております。



今日は先ほど申しました通り、市の現状がどうなっているかということについてお話をさせていただきます。まずは皆さんよく関心のある人口についてでございますが、これは今回の市長選挙候補者5人、ほぼ全員がこの人口問題について触れておりました。それだけこの狭山市の人口問題は切実な問題であるということだと思います。

現状平成28年1月1日現在153,738人ということになりますが、今のままですと10年後、平成38年には139,118人になってしまうということです。今のまま何もしなければ、狭山市は隣の入間市よりもはるかに速いスピードで人口減少が進んでいきます。

その内訳ですが、平成23年では、お手元の資料にもあるかと思いますが、老年人口が21.9%とこのようなバランスでしたが、平成38年になると高齢化率が3割を超えて、そして年少人口も13,000人程度になってしまうということなのです。



わかり易く言いますと、生産年齢人口は平成23年には103,790人いました。ところが、15年後の平成38年には79,000人程度になってしまい、この差が24,000人です。そして24,000人ということは、水富地区の人口とほぼイコールなのです。つまり、新富士見橋を渡って笹井に至る全ての地区の生産年齢人口が15年後にはいなくなってしまうという事と同じなのです。そして年少人口が平成23年の18,943人に対して、平成38年には13,672人ということになりますので、約5,300人、これは新狭山地区の人口とイコールなのです。つまり例えば新狭山地区全体が年少人口だとして、その町がそっくりなくなってしまう、子供がいなくなってしまうという事と同じなのです。

それでは老年人口、平成23年の34,494人に対して、15年後は46,221人となります。12,000人、これは柏原の人口とイコールでございます。柏原の人口そのものの高齢者の町が一つ増えるというような、そういう状況にあるということをご理解頂ければと思います。

地区別人口（推移）平成21年⇒26年

区分	人口			人口比 (26年/21年)	高齢化率	
	平成21年 (人)	平成26年 (人)	増減 (人)		平成21年	平成26年
入間川地区	46,421	45,941	△480	99%	18.5%	22.9%
入曽地区	36,827	35,853	△974	97%	23.0%	28.7%
堀兼地区	15,675	15,215	△460	97%	20.6%	25.7%
奥富地区	6,386	6,258	△128	98%	18.5%	23.2%
柏原地区	12,516	12,276	△240	98%	22.1%	29.0%
水富地区	23,001	22,507	△494	98%	17.8%	23.7%
新狭山地区	5,664	5,366	△298	95%	11.2%	16.4%
狭山台地区	12,081	11,356	△725	94%	23.7%	33.3%

※高齢化率：65歳以上人口が総人口に占める割合

地区別にどうなっているかということですが、地区別の人口の増減がありますが、やはり課題とすると狭山台地区、ここが平成21年と平成26年の人口比の減少率が一番高く、なおかつ高齢化率

もこれからどんどんあがっていくということになっております。

しかしこのような暗い話ばかりなのかと言いますとそうではなく、最近の人口動向ということでご理解頂ければと思いますが、まず平成27年の人口です。1月は154,186人でした。ところが12月末では153,738人ということで、約400人位減っているのですが、一方で世帯数が600世帯位増えています。これはマンション等ができていながらなのかも知れませんが、いずれにしてもこのような傾向にあります。そしてその中身なのですが、出生が979人に対して、死亡が1,449人。人口減少の中身というのは、狭山とはどんどん若者がいなくなり、どんどん人が出ていってしまっていると言われがちなのですが、実はよく調べてみると、人口の約400人位の差というのは、単に出生と死亡の差なのです。

最近の人口動向（平成27年）

区分	人口	世帯数	出生	死亡	自然増減	転入	転出	社会増減
1月末	154,186	66,160	94	158	△64	363	394	△31
2月末	154,152	66,196	77	132	△55	380	354	26
3月末	154,126	66,409	78	126	△48	995	960	35
4月末	154,077	66,488	78	108	△30	685	692	△7
5月末	154,003	66,514	68	111	△43	374	398	△24
6月末	154,013	66,545	118	86	32	398	411	△13
7月末	154,012	66,627	91	111	△20	450	427	23
8月末	153,911	66,604	82	132	△50	460	507	△47
9月末	153,848	66,647	70	92	△22	463	490	△27
10月末	153,855	66,736	90	114	△24	492	459	33
11月末	153,791	66,763	59	141	△82	440	421	19
12月末	153,738	66,803	74	138	△64	439	426	13
増減	△448	643	979	1,449	△470	5,939	5,939	0

※転入による登録・消滅は含まれておりません。

それが明らかになるのは社会増減、転出入なのですが、昨年は不思議なことに5,939人入ってきたのに対して、5,939人出て行った、ちょうどプラスマイナス0になったのです。そしてこれは昨年だけの話なのかと言いますと、そうではありません。私は平成5年から平成30年までの人口の増減を調べてみたのですが、平成17年をボトムにして、狭山市は実は社会減がずっと減少してきています。そしていよいよ平成27年にはプラスマイナス0になったということ、そしてこの直近の数か月は社会の転入増になっております。つまり人口という観点で言えば、よくダメだと言われておりますが、狭山市とはそれだけのポテンシャルを持った地域だというご理解を頂ければと思います。この数字を見れば明らかだと思いますので、この点は普段語られていることはよく調べてみないとわからないということになると思います。

少し残念だったことは、今まで出生数は1,000人を維持していましたが、平成27年は20数年ぶりに979人ということで、1,000人を割り込んでしまいました。そのため、我々が取り組んで行くべきはやはりなんといってもこの出生数、如何に子供を生んで、育てやすい環境をつくるかという事と、もう一つ、人間亡くなることは避けられないことですが、如何に健康で元気なお年寄りを増やし、この差を縮めていくことができれば、狭山市はまだ人口が増えるような手だてが打てるのではないかと、私はそう信じております。

それではその出生率はどうなっているのかということになりますが、政府が掲げている出生率が1.8、これを目標にやっというということになっているのですが、狭山市は国の平均の出生率よりもかなり低い数字で推移しております。

出生率（実績値及び目標値）						
※「狭山市人口ビジョン」より						
区分	平成25年 (2013年)	平成26年 (2014年)	平成32年 (2020年)	平成42年 (2030年)	平成52年 (2040年)	平成62年 (2050年)
国	1.43	1.42	1.60	1.80	2.07	2.07
↓0.24の差 ↓						
区分	平成25年 (2013年)	平成26年 (2014年)	平成32年 (2020年)	平成42年 (2030年)	平成52年 (2040年)	平成62年 (2050年)
狭山市	1.13	1.18	1.36	1.56	1.83	2.07

出生率1.80＝国民希望出生率
出生率2.07＝人口置換水準（人口が増加も減少もしない均衡した状態となる合計特殊出生率の水準）

お所轄るまち 狭山市 ※（平成26年は実績、平成32年以降は目標値）

人口減少対策としては、私は2つの戦略、戦い方があると思っております。

まず「守り」の戦略

①空き家対策

これからどんどん増えていくであろう空き家対策というものをやっていかなければいけないと思います。来年度4月以降この対策についてどうしていくべきかということを考えていきたいと思っております。

②農業振興

これはただ単に農業ということだけではなく、今耕作放棄地は非常に多く、私の住んでいる堀兼地域もそうですし、柏原も、奥富も広瀬の上の方もそうです。こうした使っていない所を、いかに使っていくのかということが一つ、しかもそれは農業だけではなく、工業や商業も踏まえてやっというところを、これから進めていきたいと思っております。

おります。

③コンパクトシティ

この狭山市駅西口地区もようやく綺麗になりました。しかし人が賑わっているかと言えば、正直まだまだの所があります。中央公民館跡地、ここも今民間の企業に6社くらいに案をご提示頂いております。恐らくそうした具体的な方向性も、近いうちに皆さんにお示しできると思っております。

次に「攻め」の戦略

①企業誘致

これが一番大切でございます。今私も就任以来、狭山市内の企業をずっと回っておりますが、企業誘致が今後は一番大切になってくると思います。これまで狭山はなぜこの企業誘致ができなかったかと言いますと、なかなか工業用地を生みだしてこなかったということが大きな原因の一つであろうと思っております。今柏原、そして広瀬地区に2カ所、田園都市産業ゾーンの中で企業誘致を図れるように取り組んでおりますし、柏原地区につきましては、明後日その整備を任せている業者さんに対して、私も直接会い、製造業を中心とした良い企業をお願いしたいということを直接お伝えしたいと思っております。

②子育て支援（学童保育室時間延長、中学生学習支援事業）

これは私の選挙公約の内の一つでもございます。今、働いているお母さんたちが都内まで出ていって、通勤時間が概ね1時間半程度、つまり定時で少し残業があつて18時くらいに終わりますと、学童保育の時間に間にあわないという事で、昨年から非常に要望が多くありました。学童保育室の時間延長を行って、働くお母さんがやや遅くなっても、お子さんを安心して預けて働けるように、仕事と子育てのバランスを取るための一つが、学童保育室時間延長ということになります。

そして中学生学習支援事業は、私が選挙中に放課後ナイトスクールと呼んでいたものです。また後程触れますが、子供たちの今の学力の状況が、やや危機的だと思っており、今これをやっていかなければならないと思っております。

③近居支援

今、同居はなかなか難しいと思います。私のところ

も難しいです。嫁姑の関係や、その間に挟まれる私の立場等を考えると、とてもじゃないけれど同居などしていたら私の身が持たないと思っております。やはりスープの冷めない距離で親と子の、お互いの面倒を見ていく、そして一度狭山の地を離れて、私の同級生ももう半分はおりませんが、そうした人たちがもう一度この町に返ってきて、例えば残っている同級生たちともう一度地域のお祭りを復活させたり、学校を何とかしよう、地域をどうしよう等、やってくればよいと思うのです。しかし今はインセンティブが全くありません。

人口流入が図られている東京 23 区、ほとんどの区で、そこに親族が住んでいれば、引っ越しをしたならば引っ越し費用の一部、家を買ったら購入費用の一部を補てんするという補助制度を持っております。しかしどういったわけか、東京都内にどんどん人口を流出させているこの近隣自治体でこのような制度を持っているところはほとんどありません。来年度予算では実現できなかったのですが、私はこの近居支援というものは真っ先に取り組むべき課題であろうと思っております。

④婚活支援

⑤観光振興（七夕祭り）

⑥ふるさと納税

今年の 4 月 1 日からふるさと納税の返礼品の制度をスタートさせます。これもこの近隣では行っていない所は狭山くらいしかありませんでした。そのため昨年の 10 月から大急ぎで取り組み、今年 4 月 1 日から始めてまいります。概ね市の商工業者の皆様にご協力頂きまして、現時点で約 76 種類の返礼品を用意することができました。4 月 1 日からスタートしますが、数か月後にはまた追加をしていきたいと思っております。

どういったことを考えているかと申しますと、例えば狭山市役所の屋上は人間基地が一番よく見渡せるところなのです。この間行ってみたのですが、200~300 人は入れます。そして近隣の市の課長さんたちからも、見せて欲しいという声は多いのです。それではふるさと納税で 1 万円~2 万円納めてくれた人は、11 月 3 日、駐車場も市のものを使い、一番良い所で見て下さい、市の特産物のお土産品も用意しますと、ほぼ原価 0 で市にも納税者

にもメリットのあるような、このような知恵比べをこれからしていかなければならないと思います。私は恐らくこれは出来ると思いますので、市も皆さんに税金を納めて欲しい、負担をして欲しいという事だけではなく、我々市役所が一丸となって知恵を出して、今ある資源を見つめて、観光振興や収入のアップを図っていくべきだと、今強く訴えているところでございます。

狭山市が今後 10 年、どのようにあるべきかという「第 4 次総合計画」というものがあるわけですが、今年はそのスタートの年でございます。今までは 15 年だったものが、最近非常に社会情勢の動きも激しいので、10 年スパンで基本構想を作ったという事になっております。そして実施計画、基本計画、基本構想というつくりで行っているということです。

基本構想の中身についてはお手元の資料をご確認頂きたいのですが、このような基本理念があって、将来像も「緑と健康で豊かな文化都市」ということで、これは第 3 次総合振興計画のものをその

まま使っているわけですが、まちづくりの柱ということでそれぞれ書いております。

前期基本計画の内の重点テーマになりますが、この 4 年間は一生懸命頑張っていきたいと思えます。そしてこの前期基本計画とは 5 年間ですので、5 年間の内の 4 年間は私の任期ということになっております。この重点テーマの中では、私の選挙公約でありました

テーマ 1：若い世代を増やす（ひと）

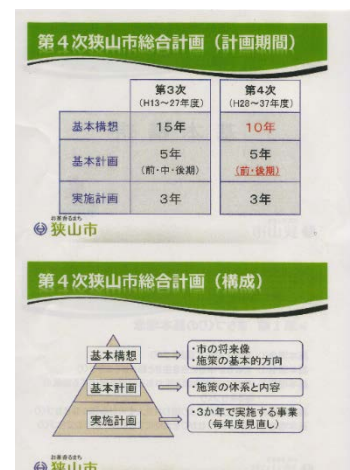
テーマ 2：まちと産業に活力を（まち・しごと）

テーマ 3：楽しめる健康高齢社会を（健康長寿）

テーマ 4：市政運営をみんなの力で（協働）

この 4 つの重点テーマに則して施策の展開をしていきたいと思えます。

先ほど申し上げました学力のお話ですが、テーマ 1：若い世代を増やしていくためには、確かにお金



のインセンティブが必要かも知れませんが、はたしてそれだけで住むきっかけになるだろうかと考えております。もっともっと磨くべきところがあるだろうと考えております。

毎年1回小学生と中学生に対して、全国学力テストを行っております。このテストの結果はようやく平均点だけ公表されるようになりましたが、全国平均点以下という結果がでております。

議員の頃より、私は議会の中でこの問題を取り上げておりました。しかし「学校現場では一生懸命やっている、もう少し家庭で勉強してもらえれば」と教育委員会は言うのですが、家庭は「もう少し学校でしっかり教えてくれれば」と言うのです。この堂々巡りを100万年繰り返しても、今の子どもたちの学力は上がりません。そしてこれからの時代、昨日あった職業というものが、あっという間に人工知能等に置き換えられていくわけです。これからの時代に私たちがいったい何をすべきかといったら、やはり将来にむかって今限りある財源をどこに投じていくのかということが、私は一番大切なことだと思っているのです。

今正直に、厳しい経済環境におかれた子どもたちも非常に多いです。就学援助制度、それは学用品や給食費、修学旅行費等を市で出すという制度ですが、その割合はやはり増えておりまして、各地区によってもかなりの違いがございます。少ない所で10%、そして多い所では3割を超える学区もございます。狭山で育った子供たちには素晴らしい未来が開けるような、その礎を築いてあげるのが、やはり私は自治体の仕事であると考えております。土曜日、日曜日に、これは市のボランティアや学習塾の協力を得るわけでございますけれども、それを使って学習支援事業というものを、今年の5月から中学生にスタートする運びとなります。これが現状です。

教育面だけではなく、狭山市にはこれから様々な課題がございます。そうした総合戦略というものも踏まえて、これから取り組んでいくことになります。それも少しご説明させていただきます。

「まち・ひと・しごと」、これは安倍政権が進めている地方創生と相意味を同じくするものでございますが、国のビジョンでいきますと、2060年に1

億人程度の人口を確保しましょう、そのためにどういったことをやっていこうかということで、

国の基本目標

- ① 地方における安定した雇用網の創出
- ② 地方への新しいひとの流れをつくる
- ③ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- ④ 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

こういったことも取り組んでいかなければならないといったこととなります。

そして狭山市まち・ひと・しごと創生総合戦略でございますが、

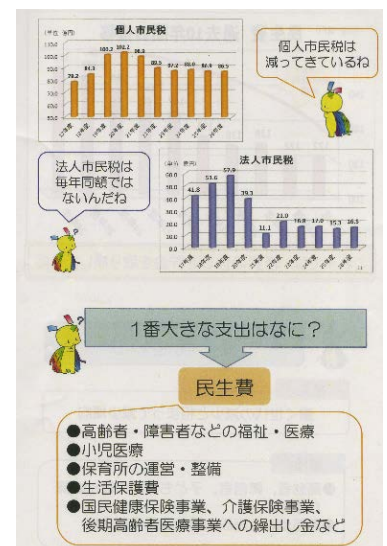
狭山市の基本目標

- ① 安定した雇用を創出する
- ② 新しいひとの流れをつくる
- ③ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- ④ 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守る
- ⑤ 元気な健康高齢社会を作る(本市独自)

2060年には人口が減ったと致しましても10万5千人の人口を確保していきたいと考えております。しかしこれはさまざまな施策を打ったうえでの10万5千人で、何もしなかった場合には7万5千人程度になってしまいます。

狭山の台所事情ですが、狭山市の財政とはホンダもあり、ロッテもあり、入間基地もございますので、非常に良いだろうと言われます。私もそう思っておりますが、そうではありませんでした。

税収についてですが、狭山市でメインとなるのは個人、法人が納めてくれる税金が半分くらいとなります。その推移は平成17年、平成18年と大変厳しい時代が続きましたが、平成19年、平成20年と100億円を超えていきました。しかしだんだんと生産年齢人口も減っていく中で、個人市民税も減ってきているという状況です。



そして法人市民税、平成 17 年~平成 19 年、このような 40 億円、50 億円、約 60 億円近い税収が単年度に入ってくるということは、これはまさに狭山市にとって神風が吹いたといえると思います。今一生懸命頑張っても 15 億程度ですから、それでは約 40 億円の差をどうやって埋めていくのかということなのです。恐らく税率改正が今年ありますので、今後はこの法人市民税も 2 桁が維持できるかどうかという、非常に厳しい見通しを今もっております。このような中でこれから私たちは何をすべきなのかということについては、真剣になって取り組まなければならないと思っております。

そうした中で一番大きな支出は、やはり福祉に関する支出がほとんどです。市の歳出の 40%を超える金額が民生費ということになっております。例えば国民健康保険事業、これは皆さんも詳しいかと思いますが、今国民健康保険に加入している保険料だけでは足りずに、市の予算の最初に約 8 億円確保します。しかし昨年度は足りずに、年度末には更に約 6 億円追加致しました。合計で 14 億円です。昨年の議会で国民健康保険税の 2 億円位を値上げするという事で、猛反発を受けながら、しかしなんとか通したのですが、そうだとでもまだまだ 10 数億円、この国民健康保険を運営していくために投じていかなければ、医療というものが守れないという現実にございます。

民生費の推移ですが、平成 17 年度から平成 26 年度まで、約 50 億円増えてしまっております。税収は 40 億円減っている中で、民生費は 50 億円増えているのです。これを今までどうしていたかということなのです

が、基金を使って対応してきていたわけですが、基金を使って対応してきていたわけですが、しかし年度当初の基金残高は減少傾向にあり、平成 27 年度、市が自由に使える貯金は 30 億円を少し欠け

る程度あったのですが、このままの使い方をずっと続けると既に平成 28 年度には赤字が始まってしまうという状況にありました。しかしかなり見直しを致しましたので、来年度も基金はしっかりと残っております。

先週市議会がありまして、来年度予算を通して頂いたのですが、命に繋がる福祉を真っ先に切るとは何事かと、大変厳しいお言葉を最後に頂きました。しかしそのようなことを取り組まなければ、平成 32 年度には基金もなくなってしまうということが、明白になってきてしまっているのです。今までの市税のトレンド、使い方トレンド、こうしたものを続けて行くとあつという間にこうなってしまうということなのです。

私は選挙の際に、狭山の未来を守るということがテーマでございました。こうした現状にあるということが分っていながら、例えば今私に課せられたことをしなかったとしたら、私に価値などありません。就任早々でありましたが、例えば敬老祝い金、約 3,000 万円ほどでしたが、これを直ちにやめようと言う厳しい判断を致しました。しかし高齢者の皆さんとは有り難くて、反対や抗議の電話は 1 件もありませんでした。私に対しても、どなたからもありませんでした。そして「俺たちもいらないと思った」とそのようにおっしゃってくれました。敬老祝い金を支給する方は、どの方も全て、戦争という厳しい時代を乗り越えて、そして次のためにということで、この間日本を背負ってこられた方々ばかりです。もちろんそうした方たちに対して、私たちは出来る限りのことをしたいという思いではいるものの、しかしそれは直ちに現金を配るということではないと、そしてそのことをそうした世代の方たちには理解して頂き、「僕たちが 1 万円貰うのではなく、次の世代のために寄付すると考えれば、僕たちはそれで良いんだ」と言って下さった方もいました。そうした思いに私たちはしっかりと答えて、狭山市をアップデート、リニューアルしていきたい、そしてこの町に引き続き、私たちの次の世代、またその次の世代と、ずっと住み続けられるような環境というものを如何に作っていくのかということが問われるこれからであると思っております。



暗い話ばかりになりましたが、明るい話もございまして、2019年、2020年にはオリンピック、パラリンピック、そしてラグビーがやってまいります。皆さんご承知の通り、狭山市に縁のある出場選手、まずはホンダの男子マラソン・石川選手、そして広瀬にある八千代工業で作った車椅子、そしてそこに所属をされていらっしゃる女子の車椅子マラソン、恐らくメダル候補の土田選手が出ていらっしゃいます。

そして広瀬地区で育った近代五種の朝長選手は次のリオオリンピックにも出るという事で、オリンピック、パラリンピアンが3人誕生致しました。そして2019年のラグビーのワールドカップ、これらは世界の3大スポーツイベントの内の二つなのです。

もう一つはサッカーのワールドカップです。この3つの内の2つが僅か2年の間に日本に来るなどという事は、考えられないことなのです。霞ヶ関カンツリー倶楽部にはゴルフがやってまいります。この東京オリンピックやラグビーのワールドカップによって、狭山市に新たなレガシー、遺産というものをしっかりと植えつけることができるのではないかと考えております。

狭山市駅の東口、今ベルクの所まで、駅前から道を通すべく精力的にやっております。やはり駅から歩いて5分、10分という土地が、いつまでも畑のままではいけないということで、そこに商業施設、また工業、住宅、こうしたものがはり付けられるように、今全力で取り組んでいるところでございます。そして入曽も課題なのですが、今日夕方、ここから少しいった所の茶業農業共同組合の組合長に挨拶してまいります。この入曽駅の再開発についても、昨年の冬に西武鉄道へ行き、お互い協力してこの駅を早くなんとかしようと言っております。そしてその種地は、入間小学校の跡地、ここは市が持っておりますので、これを活用して、何とか人の賑わいが作れるような町にすべく、やっていきたいと思っております。

あの小学校の跡地に公民館を建てるということだったのですが、それを整理しなければあそこを再開発することは出来ません。これは前仲川市長の思いでもありましたが、その公民館を入間中学

校の方に寄せました。つまり入間小学校の跡地については、今我々の方で自由に絵が描けるような形になっております。こうしたこともここ数年の内には、皆さんにきちんとお示しが出来ると思います。

今私たちが持っている資産というものを如何に有効活用して、如何に知恵を絞ってこれから市政運営をしていくかという事だと思います。今私たちが目指すべきと言うのは、本当に知恵を絞って、今かかっている経費を見つめ直して、そして聖域なく改革に取り組んで、1日も早くこの狭山市が本当にまた輝ける日々を迎えることができるように、そして若い世代が入ってきて、この狭山市で豊かな人生を送れるようにしていくことだと思っております。そのために私も全身全霊で頑張ってまいりたいと思っておりますので、何卒宜しく願いを申し上げます。

今日は本当にありがとうございました。





新狭山 RC 東 喜代雄様 本日はお世話になります、皆さんとご一緒出来て大変嬉しいです。先頃から「ぼくは写真でつながる」映画会では中央クラブあけてのご協力下さりありがとうございました。

新狭山 RC 伊藤宣明様 小谷野市長、ようこそお出でくださいました。

新狭山 RC 石田崇様、小原茂様 本日はお世話になり有難うございます。

江原君 本日は小谷野市長に外来卓話の時間をお願いしております、お忙しい中ご都合をつけて下さいまして誠に有難うございます、今日は宜しくお願い申し上げます。また、新狭山 RC の皆様ようこそお出で下さいました、今日は一日宜しくお願い致します。

小島君 小谷野 剛市長、ようこそお出で頂きました。今日を楽しみにしておりました。新狭山 RC の皆様宜しくお願い致します。

趙恩恵さん、これからも頑張ってください。

浜野君 狭山市長小谷野剛様、ようこそお越し下さいました、卓話楽しみにしています。東会長をはじめとする新狭山 RC の皆様、米山奨学生の趙恩恵さん、ようこそお越しくださいました。

稲見君 小谷野 剛狭山市長、今日はようこそロータリークラブにお出で頂きました。今日のお話し楽しみです。

栗原(成)君 小谷野市長、本日の卓話を楽しみにしております。市政頑張ってください。

守屋君 小谷野市長様、お忙しい中お出で下さりまして誠に有難う存じます。

沼崎君 本日は小谷野市長、新狭山 RC の皆様、ようこそお出でくださいました。一緒に活動できる事、大変嬉しくこれからも宜しくお願い致します。

小澤君 狭山市長さん、新狭山クラブの皆さんようこそいらっしゃいました。宜しくお願い致します。

佐藤君 本日はお忙しい中、小谷野市長をお呼びしての外来卓話に新狭山クラブの皆様もたくさん参加して頂き、活気があり楽しい会になりそうです。本日は、皆様宜しくお願い致します。

田中(八)君 小谷野市長様、ようこそいらっしゃいました。先日の安全保障講演会有意義でした。

若松君 狭山市長小谷野剛様、本日は卓話宜しくお願いします、楽しみにしていました。

「交通安全啓発のぼり旗」

事務所前向かい側道路沿い



事務所玄関前



※次の例会

4月5日(火) 例会臨時変更 親睦ゴルフコンペ&お花見夜間例会

ゴルフ会場：武蔵カントリークラブ笹井コース 夜間例会会場：ニックス 点鐘 18:30